

# 令和6年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 大積 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に、「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

教科に関する調査（国語、算数）	
①	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
②	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問調査

児童質問調査	
<input type="checkbox"/>	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

※本校の6年生については、単学級ですので個人が特定されないように公表の方法については、配慮しています。

### 3. 教科に関する調査結果の概要

- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.6	60
全国	9.5	68	10.1	63

- (2) 本校の学力調査結果の分析

教科	全体的な傾向や特徴など	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができていない。文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係などについての理解に課題がある。
国語	よくできた問題	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができていない。
	努力が必要な問題	文の中における主語と述語との関係を捉えることに課題がある。
算数	全体的な傾向や特徴など	図形を構成する要素などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力に課題がある。
	よくできた問題	円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る力ができていない。
	努力が必要な問題	問題場面の数量の関係を捉え、式にあらわすことや角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述することに課題がある。

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要

質問調査の結果分析	
	<ul style="list-style-type: none"><li>・スマートフォンなどを使って、1日当たりSNSや動画視聴などをしている時間は3時間以上と回答した児童の割合が全国平均に比べて多く、多くの時間をかけていることがわかる。スマートフォンの使用についても約束はないと答えている児童が多い。スマートフォンなどの使用について課題がある。</li><li>・土曜日や日曜日など学校が休みの日の一日当たりの勉強時間について、全くしないと回答した児童の割合が全国平均と比べて多く、家庭学習の習慣化が図れていないことがわかる。</li><li>・自分にはよいところがあると回答した児童の割合が全国平均に比べて高く、自己肯定感の高まりが伺える。</li></ul>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

- ① 教科に関する取組

- ・算数の学習時間の5分間を復習タイムとし、基礎基本の定着を継続して行っていく。また、数量の関係や図形の意味、性質などの問題を重点的に復習する。
- ・学校図書館職員によるブックトークや本の紹介など、読書の楽しさを伝えていく。
- ・ICTを活用し、個に応じた学習活動の充実を図っていく。

- ② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・家庭学習ウィークを設定し、家庭での学習習慣の定着を図る。
- ・生活アンケートをもとに児童の実態を把握し、基本的な生活習慣の定着を図っていく。